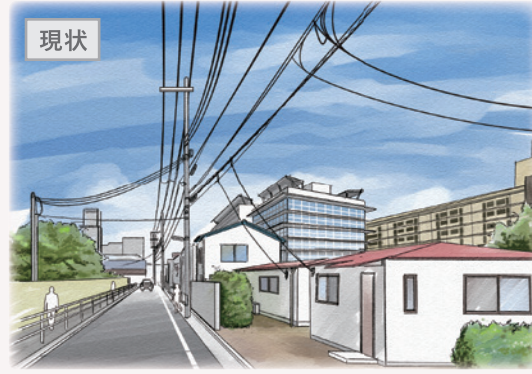


事業効果 ③

無電柱化や道路の拡幅により  
防災機能や都市景観の向上を図ります

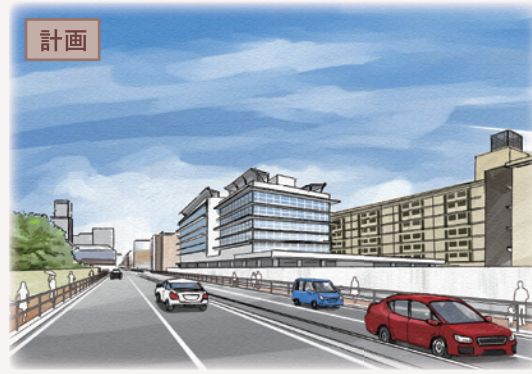
現状の問題

(都)西九条佐保線や(都)大安寺柏木線の事業区間の沿道には電柱が多く、地震時の電柱倒壊による道路交通やライフライン(電力・通信等)の寸断のリスクが大きい状況です。また、電柱が林立しており電線も張り巡らされていることから、都市景観の阻害要因となっています。



無電柱化や道路の拡幅による防災機能と都市景観の向上

無電柱化や道路拡幅により、電柱の倒壊による「道路の通行止め」や「ライフライン停止」のリスクが低減され、防災機能が向上します。また、電柱が無くなることで、世界遺産を多数有する奈良市中心市街地へのメインゲートに相応しい都市景観の向上を図ります。

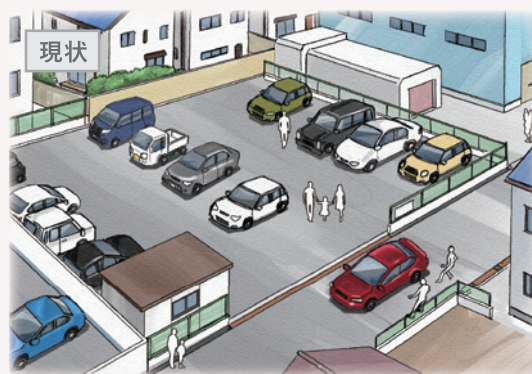


事業効果 ④

適切な歩道幅員の確保により  
安全で快適な歩行空間が実現します

現状の問題

西九条佐保線(奈良市道)は現道幅員が狭く、平成27年からの4年間で重傷事故が3件、軽傷事故が20件発生しており、交通事故のリスクが高くなっています。また、沿道は住宅や商業施設が立地している点や通学路に指定されていることから、安全面の問題が大きい状況です。



安全で快適な歩行空間の実現

(都)西九条佐保線の整備により歩行者と自動車が分離され安全・安心な歩行空間が確保されます。また、歩道幅員が確保されることで、歩行者や自転車等の接触による事故が減少し、車椅子利用者や高齢者も安心して通行できる快適な歩行空間が整備されます。

